

2025年（令和7年）
10月21日 火曜日
第1992号

京都自動車新聞



京ト協総務委 定年制協議 2
南西地区整備協 上岡会長に聞く 4
ディーラー中古車フェア11月1日から 6
コグニ会 2トーン塗装題材に研修会 7
◀KCAA京都 創立22周年AA 8

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内） 電話（075）672-0552 ファクス（075）682-0205 メール access@kyotojidosha-np.jp

追跡 データベース

―東京商工リサーチ編―

倒産件数が増加

6月 運輸業は前年同月下回る

6月の負債総額100 は同3・8%減の100万円以上の全国企業倒産件数は、前年同期比57億3000万円と43・4%増の848件と下回った。京都府の倒産件数は43件（負債総額44億7100万円）。0件台で推移。負債総額

産業	倒産件数	
	6月	前年同月比（増率）
農・林・漁・鉱業	6	▲25.00%
建設業	178	14.83%
製造業	101	24.69%
卸売業	87	▲17.14%
小売業	102	21.42%
金融・保険業	1	▲50.00%
不動産業	22	46.66%
運輸業	33	▲13.15%
情報通信業	32	▲30.43%
サービス業ほか	286	0.00%
合計	848	3.41%

産業別では、10産業のうち4産業が前年同2カ月連続で前年同月期より増加。運輸業は下回った。

「重量物物流＝タテロ」ブランド化 新倉庫完成&本社移転■差別化戦略で積極攻勢



国道1号沿いに面する新本社と倉庫

「将来の分社化を見据え、ホールディングス化したい」と建口社長は「管理職や役員を目指したい職員に門戸を開いた。分社化していく中でトップになる社員が生まれることを期待したい。倉庫の保有は営業面の強化だけではなく、ドライバーを辞めても倉庫内でオペレーターや作業員として未永く働ける職場を提供する狙いもある」と話す。新本社の敷地面積は9193平方メートル。その方に、3300平方メートルの重量物専用倉庫が完成した。満床にしたい。米田専務は「大規模倉庫が完成した。満床にした上でさらに次の倉庫を検討、規模を拡大していきたい。併せて従業員やドライバーの働きやすい職場環境を整備していく。相互理解を深めるためにもコミュニケーションを大切に、社員一体となり会社の成長につなげたい。国道1号沿いに面しており、目立つ存在。タテロブランドに恥ずかしくないよう教育も徹底したい」と意気込みをみせる。

働きやすい職場整備 社員教育にも注力

米田専務は「大規模倉庫が完成した。満床にしたい。米田専務は「大規模倉庫が完成した。満床にした上でさらに次の倉庫を検討、規模を拡大していきたい。併せて従業員やドライバーの働きやすい職場環境を整備していく。相互理解を深めるためにもコミュニケーションを大切に、社員一体となり会社の成長につなげたい。国道1号沿いに面しており、目立つ存在。タテロブランドに恥ずかしくないよう教育も徹底したい」と意気込みをみせる。

3本柱で生き残り 希少価値高め交渉

高橋取締役は「運搬、据え付け、保管の3本柱で生き残りを賭ける。倉庫は、一般貨物を取り扱う中で長距離輸送の中継拠点としての活用も視野に入れる。自動化による作業効率化や省人化が実現しているものの、重量物は難しい。重量物の運搬のスキルを維持しつつ大型平ボディー車に特化すること。希少価値を高め、運賃交渉を有利に進めたい」と抱負を述べた。

タテロ（建口和矢社長、亀岡市）は2026年9月期、積極的な攻勢をかける。1日付でタテロホールディングス（同社長、八幡市）を設立するとともに、本社を亀岡市から八幡市に移転。府内初という30・15ト吊りクレーン付き倉庫も稼働させた。創業以来培ってきた重量物・精密機器の運搬、据え付けに保管機能も加え、保管から据え付けまで一貫して行える体制を整えた。今後、重量物・精密機器物流「タテロ」をブランド化し、他社との差別化を図る戦略だ。

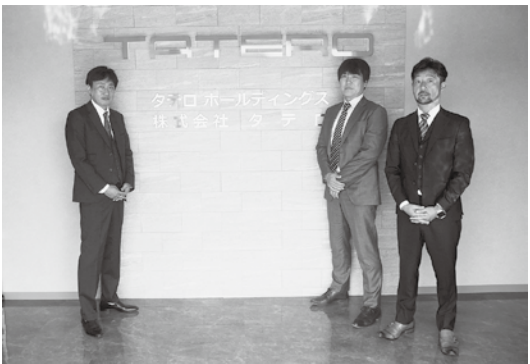
「将来の分社化を見据え、ホールディングス化したい」と建口社長は「管理職や役員を目指したい職員に門戸を開いた。分社化していく中でトップになる社員が生まれることを期待したい。倉庫の保有は営業面の強化だけではなく、ドライバーを辞めても倉庫内でオペレーターや作業員として未永く働ける職場を提供する狙いもある」と話す。新本社の敷地面積は9193平方メートル。その方に、3300平方メートルの重量物専用倉庫が完成した。満床にしたい。米田専務は「大規模倉庫が完成した。満床にした上でさらに次の倉庫を検討、規模を拡大していきたい。併せて従業員やドライバーの働きやすい職場環境を整備していく。相互理解を深めるためにもコミュニケーションを大切に、社員一体となり会社の成長につなげたい。国道1号沿いに面しており、目立つ存在。タテロブランドに恥ずかしくないよう教育も徹底したい」と意気込みをみせる。



重量物専用倉庫（上）と事務所内

物専用平屋建て倉庫および、床面積1485平方メートルの平屋建て倉庫と事務所を建設した。重量物向け倉庫には天井クレーンとして、30ト吊り・7・5ト吊り1基と、15ト吊り・5ト吊り1基を備え付けた。タテロホールディングス（同社長、八幡市）を設立するとともに、本社を亀岡市から八幡市に移転。府内初という30・15ト吊りクレーン付き倉庫も稼働させた。創業以来培ってきた重量物・精密機器の運搬、据え付けに保管機能も加え、保管から据え付けまで一貫して行える体制を整えた。今後、重量物・精密機器物流「タテロ」をブランド化し、他社との差別化を図る戦略だ。

全職員のパソコンにワイドモニターを採用し、業務の効率化とペーパーレス化と、DX（デジタルトランスフォーメーション）化を実現した。事務所と倉庫の電力を補うために太陽光パネルも屋上に設置しており、環境面にも配慮している。



左から建口社長、高橋取締役、米田専務。タテロホールディングス（同社長、八幡市）を設立するとともに、本社を亀岡市から八幡市に移転。府内初という30・15ト吊りクレーン付き倉庫も稼働させた。創業以来培ってきた重量物・精密機器の運搬、据え付けに保管機能も加え、保管から据え付けまで一貫して行える体制を整えた。今後、重量物・精密機器物流「タテロ」をブランド化し、他社との差別化を図る戦略だ。



トヨタカローラ京都

京都市中京区西ノ京南大炊御門町1-1
TEL 075-463-1111